

2013年5月10日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

これからを担う世代が岐阜県内の福祉について学ぶ

「美濃と飛騨のふくし」を開講

初回は関市が「合併と市民参加の挑戦」と題して講義

中部学院大学・中部学院大学短期大学部は、岐阜県内の福祉の現状について学ぶ「美濃と飛騨のふくし」を開講しています。この授業のねらいは、美濃・飛騨の地域に対する関心を高め、地域の諸活動から学ぶことで、地域人としての素養を培い、地域社会に貢献する人材の育成をめざすことです。また、これから進む経済や福祉、教育、医療などの職業領域において、地域社会に対する貢献のあり方を模索することです。講義には、本学が連携協定を結んでいる団体、企業からゲスト講師を迎え、それぞれの立場から、地域での実践報告を題材に、ディスカッション形式を基本に進めていきます。

(詳細は2、3ページ参照)

記

- 日時 2013年4月8日(月)から計16回(予定)
午後3時～同4時30分(4時限目)
- 会場 中部学院大学 関キャンパス(関市桐ヶ丘二丁目1番地)
- 対象者 本学の全学科(大学4学部5学科、短期大学部2学科1専攻科)
- 講師 2ページ参照
- 趣旨 3ページ参照

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学地域連携推進センター(担当:飯尾 同センター所長/人間福祉学部教授) TEL:0575-24-2211

「美濃と飛騨のふくし」 招聘講師一覧

授業回	期日	テーマ	依頼先
第1回	4/8	「美濃飛騨のふくし」について(オリエンテーション)	
第2回	4/15	美濃・飛騨の地域特性について(自然・歴史・文化)	
第3回	4/29	美濃飛騨の地域特性について(県・市町村行政)	
第4回	5/13	関市の概要と行政の課題について 合併と市民参加の挑戦	関市
第5回	5/20	うだつと和紙のまち美濃市の観光と行政の課題について	美濃市
第6回	5/27	各務原市の概要と観光 “各務原キムチ” 誕生のはなし	各務原市
第7回	6/10	郡上市の概要と郡上踊りの魅力	郡上市
第8回	6/17	世界遺産 白川村と住民の暮らし 多くの観光客を迎えて	白川村
第9回	6/24	ドライブスルーをつくった大垣共立銀行の取り組み	大垣共立銀行
第10回	7/1	福祉作業所の製品を販路拡大する取り組み	岐阜県社会 福祉協議会
第11回	7/8 4限	多治見市の概要と観光、まちづくり	多治見市
第12回 補講	7/8 5限	岐阜市芥見のコミュニティバスとまちづくりについて	芥見自治会 連合会
第13回	7/15 4限	岐阜県・関市の市民活動と NPO	関市民活動 センター
第14回 補講	7/15 5限	関市の紙芝居「孫六座」の実践について	孫六座
第15回	7/22	地域の暮らしと岐阜の未来	
第16回	7/29	最終レポート	

「美濃と飛騨のふくし」

岐阜県は、「木の国 山の国」といわれ、自然豊かな県です。また、斉藤道三、織田信長など戦国の武将が活躍し、濃尾平野を中心に豊かな経済を生み出す地域でもありました。そして現代、日本の中心に位置し、伝統と新しい文化の中で、210万人を越える県民が生活を営んでいます。

地域は、学び成長し、仕事を行い、家庭生活をおくるとともに、社会参加をする場でもあります。その地域が、安全・安心であり、活力とやすらぎに満ちたものであることが望まれています。そのため地域には、行政機関や企業・商店、学校や病院・福祉施設、住民組織やNPOなどさまざまな組織があり、活動しています。

本学では、これまで地域連携推進センターが中心となり、大学と地域との連携を築き、地域貢献に取り組んできました。大学が持つ教育力や知的財産を、地域社会の安全・安心と発展のために活用できるよう、いろいろな連携事業に取り組んできました。

- 1) 図書館に「郷土の福祉ライブラリー」を設置し、福祉関係の資料と図書の収集保存、提供
- 2) 地域の生涯学習や福祉教育、福祉研修などに講師を派遣し、研究の成果を提供
- 3) 行政機関などが設置した審議会、協議会、委員会等に教員を派遣し、専門的な立場からの計画提案
- 4) 行政が行う調査研究に参画
- 5) 大学に隣接する地域自治会と協働で、地域まつりを実施し。また、地域の高齢者対策などに協力
- 6) 地域おこしイベント等への参加

このように、大学と地域との間で築いてきた協力関係を、学生に開放し、学生たちが地域社会のエネルギーから学び、地域人としての準備を行うとともに、学生たちが持っている感性やアイデアを地域社会のために役立てる方途を導き出すことが、次の段階として求められるようになりました。

そこで、2011度から大学・短大共通の基礎科目として「美濃と飛騨のふくし」の講義を開講しました。この授業は、美濃・飛騨の地域に対する関心を高め、地域の諸活動から学ぶことで、地域人としての素養を養い、地域社会に貢献する人材の育成を目指します。さらに、これから進む経済や福祉、教育、医療などの職業領域において、地域社会に対する貢献のあり方を考えます。

講義には、本学が連携協定を結んでいる団体、企業からゲスト講師を迎え、地域実践の報告を題材としてディスカッション中心に進めていきます。その際、ファシリテーターを人間福祉学部の飯尾良英教授（短期大学部専攻科長）が務めます。

以上